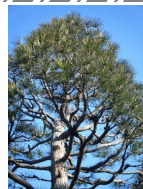




# ささくら

〈笑顔輝く宮床中〉 〈風格のある宮床中〉



〔校木:高野槇〕

【教育目標】  
豊かな心を持ち  
自ら学び共に高め合う  
生徒の育成  
【校訓】  
自立・共励・躍進

7/20(水)1学期終業式…『努力を積み上げる』って、どんなことだろう？

## ヘレン・ケラーの“*It is warm today.*”までの長い道のり



先日の「体育祭」は、実に感動的でした。4組のカラー団の入場行進、そして、各団長さんの選手宣誓によるオープニング…。形式にとらわれず、皆さんのアイデアや発想をふんだんに取り入れた独創的でユニークなパフォーマンス。まさに「生徒による、生徒主体の体育祭」を象徴するものでした。その後の競技で見られた、伸び伸びと力の限り、一心不乱に取り組む皆さんの輝かしい姿、それを一緒になって応援する先生方の姿に感激しました。きっと、皆さんのほとんどが、心地よい「筋肉痛」を体感したはず。さらに「体育祭」のフィナーレを飾る、生徒会長・脇澤宏輔くんの閉会の言葉…。ともに力を尽くして競い合った自分たちに向けた拍手、長期間にわたって企画や準備を進めてくれた実行委員さんに向けた拍手、

そして、中心となって指導に当たってきた体育科の3名の先生方への感謝の気持ちを、全校生徒で形にしてくれました。皆さんの心の成長と、先生方の思いが皆さんにしっかり伝わっていることを感じて、目頭が熱くなりました。そんな皆さんだからこそ、気まぐれな天気も味方をし、私たちが全種目を無事にやり遂げる手助けをしてくれたものと考えます。私の理想とする、生徒たちの「笑顔輝く学校づくり」、学校の一員であることに誇りを感じる「風格のある学校づくり」が、着実に進んでいることを実感できた最高の一日でした。改めて、全校生徒の皆さんに、心から感謝します。



さて、69日間の1学期、全校生徒401名が、家族の声掛けや、先生方の指導を受け入れ、大きな事故もなく、明るく・楽しく・元気に過ごせたことを、大変うれしく思います。1年生にとっては、中学校への進学、2・3年生にとっては、それぞれ上級学年への進級を果たし、新たな決意を胸に抱きながら過ごした「節目の学期」であったはず。皆さん、4月当初に立てた、自分自身の目標の達成状況はいかがですか。また、この1学期を通して、自分自身、どれくらい成長できましたか。きっと、目標達成や成長のチャンスは、毎日、皆さんの目の前にたくさんあるのだと思います。問題は、それをしっかり捕まえるかどうか、捕まえる努力をするかどうかにあります。1学期の始業式で、『過去を変えることはできないが、未来と自分を変えることができる』という言葉を紹介しました。皆さんには、この69日間の確かな成果と、これから改善しなければならない課題があるはず。まずは、自分自身の成果と課題を、しっかり自覚しましょう。そして、『未来と自分を変える』ために、また、この1年がかけがえのない良い年になるように、1歩ずつ着実に『努力を積み上げて』いきましょう。

さて今日は、この『努力を積み上げる』ということについて、皆さん一つお話をします。どんなことでも、できないことができるようになるのは簡単ではありません。場合によっては、たくさんの時間が必要になることもあります。ところが、人は2、3回チャレンジしてできなかったりすると、そこでやめてしまうことがあります。でも、やめてしまうと、できるようになる可能性はゼロになってしまいます。



8歳の頃のヘレン・ケラー（左）とアン・サリヴァン（1888年7月）  
出典：ウィキペディア

皆さんもよく知っていると思いますが、ヘレン・ケラーという方がいました。幼いときの病気が原因で、目が見えなくなり、耳も聞こえなくなり、話をすることもできませんでした。このヘレン・ケラーにたくさんのことを教えたのが、サリヴァン先生という家庭教師の先生でした。サリヴァン先生は、ものすごくたくさんの時間を使って、少しずつ、根気強く、ヘレンに勉強を教えました。ヘレンも、たくさんのことを学びました。しかし、ヘレンはどうしても声を出すことができませんでした。ヘレンは、どうにかして声が出たくて、いろいろなことを試しました。喉に手をやったり、サリヴァン先生の口の中に指を突っ込んだり…。そして、ある日、ついにヘレンは「*It is warm today.*（今日は暖かいです）」と自分の声を出すことができたのです。それは、ヘレンが11歳の春のことでした。サリヴァン先生がヘレンの家庭教師になってから、なんと4年もの年月がたったのです。「今日は暖かいです」という簡単な言葉を声に出すために、ヘレンとサリヴァン先生は4年もの間、努力を続けたのです。4年という本当に気の遠くなるような長い時間をかけて、やっと一つのことができるようになったのです。そう考えると、私たちは普段の生活の中で、多少の努力をした程度で「努力したのにできない…」などと、あまりにも簡単にあきらめてしまっているのではないのでしょうか。できなければ、もっともっと時間をかけて、できるようになるまで何度でもチャレンジすればよいのです。今日立てた目標が、「努力し たけどできない…」とあきらめそうになったときは、ぜひ、この話を思い出してみてください。

1年は長いようですが、あっという間に過ぎ去っていきます。明日から始まる夏休みも同様です。時間を無駄にせず、あきらめないで努力を積み重ね、できることを一つでも多くしながら成長していきましょう。最後になりますが、熱中症や交通事故に十分気を付け、安全に過ごしてください。8月26日の第2学期始業式、また皆さんの元気で明るい笑顔に会えることを心から願い、式辞といたします。〔1学期終業式 校長式辞から〕

宮床中スケッチ “汗して働く” “みんなのために” “自分にできること” “力を合わせる楽しさ”

## 着実に根付いている『ボランティア』の心

宮床中では、登校坂での「あいさつ運動」の他、昼休みの「花壇の草取りや花植」、体育祭前の「校庭の草取りや石拾い」など、生徒会がリードするボランティア活動が、宮床中の新しい伝統として根付いてきています。給食時の校内放送で、生徒会が全校生徒に呼びかけると、多い時には100名近くの生徒が昼休み時間集まり、ボランティア活動に汗を流します。時には猛暑の日も。でも「さあ、短時間でやっちゃうよ。」と手際よく作業する姿には笑顔があります。卒業生が自発的に行った秋の「登校坂の落ち葉掃き」や冬の「雪かき隊」の活動は、現在、宮床中アルカス「宮床中よくし隊」に引き継がれ、仲間の輪は更に広がっています。本日昼過ぎには、有志約20名が大和警察署と共に、地域の商業施設での「万引き防止キャンペーン」に参加します。地域に発信する活動も始まっています。



〈昼休みの花壇の花植。〉



〈体育祭前の校庭の石拾いやテント設営も生徒の手で。団結力を発揮。〉



## 《受賞の記録》 \* 1学期間の各種大会での受賞記録を紹介します。

### 〈女子ソフトテニス部〉

- ・4/1 ウィナー杯東北中学校選抜ソフトテニス大会〔女子個人〕第5位：差ヶ久保幸来(3-4)・藤原珠奈(2-1) 組
- ・4/9 宮城県中学校ソフトテニス大会〔女子の部〕 第1位：芳賀ころこ(2-1)・宇都宮好(2-4) 組  
広瀬杯ソフトテニス大会〔女子個人〕
- ・5/3 TOMIYAカップ中学生春季ソフトテニス大会  
〔選抜トーナメント女子の部〕第1位：差ヶ久保幸来(3-4)・藤原珠奈(2-1) 組  
第2位：芳賀ころこ(2-1)・宇都宮好(2-4) 組  
〔研修トーナメント女子の部〕第5位：小川明日羽(2-2)・小松田葵(2-4) 組  
第5位：大村澗央(3-3)・椎川さくら(3-3) 組
- ・6/18 R S T利府町長杯ソフトテニス大会〔女子Aの部〕第1位：芳賀ころこ(2-1)・宇都宮好(2-4) 組  
第3位：秋保珠李(3-2)・野田愛莉(3-4) 組  
〔女子Bの部〕第3位：小松田葵(2-4)・渡邊結香(1-2) 組
- ・7/3 R S T利府町長杯中学団体対抗戦〔女子団体〕優勝  
(芳賀ころこ(2-1)・宇都宮好(2-4)・差ヶ久保幸来(3-4)・藤原珠奈(2-1)・秋保珠李(3-2)・野田愛莉(3-4))

### 〈男子ソフトテニス部〉

- ・4/1 ウィナー杯東北中学校選抜ソフトテニス大会〔男子個人〕第5位：高橋俊介(3-3)・佐藤柊哉(3-4) 組
- ・5/3 TOMIYAカップ中学生春季ソフトテニス大会  
〔選抜トーナメント男子の部〕第2位：高橋俊介(3-3)・佐藤柊哉(3-4) 組  
第3位：佐賀海斗(2-2)・佐々木柊碧(2-2) 組  
第5位：古関奏太(2-1)・伊藤禅(2-4) 組  
〔研修トーナメント男子の部〕第2位：藤田将(3-3)・野田光希(3-4) 組  
第5位：菅野瞭(3-3)・布塚礼朗(3-4) 組
- ・5/7 大和町春季ソフトテニス大会〔中学生男子の部〕第1位：高橋俊介(3-3)・佐藤柊哉(3-4) 組  
第2位：佐賀海斗(2-2)・佐々木柊碧(2-2) 組  
第3位：古関奏太(2-1)・伊藤禅(2-4) 組
- ・6/19 R S T利府町長杯ソフトテニス大会〔男子Aの部〕第1位：高橋俊介(3-3)・佐藤柊哉(3-4) 組
- ・7/2 R S T利府町長杯中学団体対抗戦〔男子団体〕優勝  
(高橋俊介(3-3)・佐藤柊哉(3-4)・佐賀海斗(2-2)・佐々木柊碧(2-2)・古関奏太(2-1)・伊藤禅(2-4)・藤野将(3-3)・野田光希(3-4))

### 〈女子卓球部〉

- ・5/1 サンフラワー卓球大会〔中学生以下女子団体〕第3位  
(青砥凜(3-3)・今在家梨緒(3-4)・澁谷のどか(2-1)・高橋郁乃(1-1)・東谷夏帆(1-2))

### 〈第23回原阿佐緒賞〉

- ・青少年の部 奨励賞：大内美希(3-1)「完成したパズルをながめ交じりあう うれしい気持ち さみしい気持ち」  
池田 舞(3-2)「登下校歩くこの坂変わらずに 変わり続ける私が歩く」

## 〔教頭所感〕

・私が部活動に明け暮れていた中学生の頃、ノートによく書き留めていた言葉がありました。『栄光に近道なし！栄冠に涙あり！』。教員になり、雨の日も、雪の日も、毎朝校庭で自分の限界まで走り続ける生徒の姿に出会いました。毎日の走りや踏み固められ、ラインなど引かなくてもはつきりとわかるトラックは、今でも目に焼き付いています。全国駅伝入賞の喜びよりも、日々の努力が報われた安堵と感激。近年、その代の生徒達が社会で頼もしく活躍する姿に触れまぶしく感じます。目の前の生徒達に伝えたい。“今の頑張りや葛藤は無駄じゃないよ。” チーム宮床中で支えます。

○保護者の皆様の1学期間の温かなご協力に感謝申し上げます。来学期もよろしくお願いいたします。

〔宮床中学校〕〒981-3624 黒川郡大和町宮床字四辻13番地の7

Tel:022-346-2006・022-347-8151 Fax:022-347-8152

「宮床中だより」は学校HPにも掲載しています。 <https://www.taiwa-tk.ed.jp/miyatoko-j/> 〈文責：教頭〉